

堀場製作所 (コード 6856)

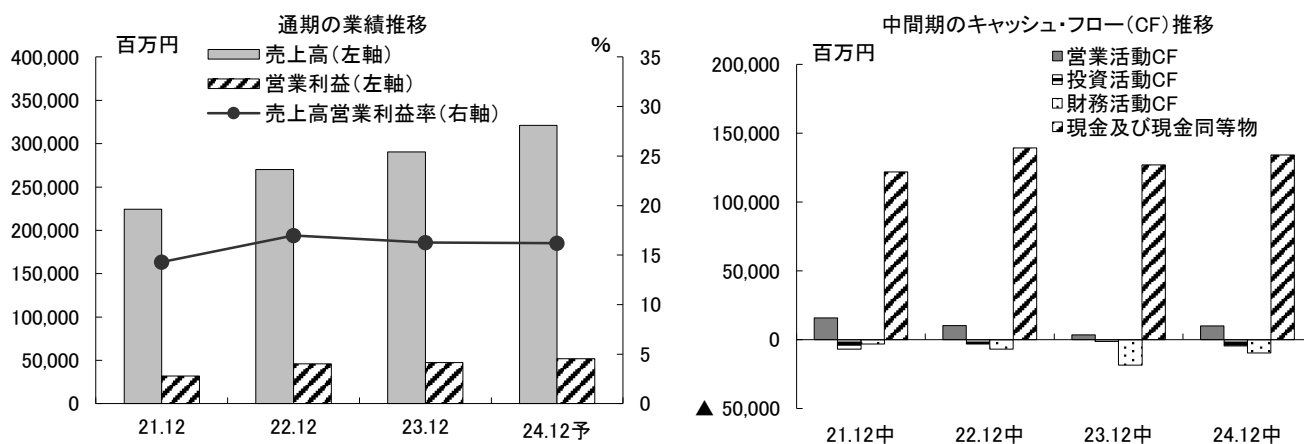
◆各決算期の中間期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.12	114,965	16,260	266.3	65.0	10,273	▲3,080	▲6,921	139,255
23.12	131,105	17,838	449.9	80.0	3,635	▲1,277	▲18,565	127,009
24.12	142,720	18,615	312.4	80.0	9,955	▲4,390	▲9,730	134,237

◆通期業績推移(連結) (24.12 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.12	270,133	45,843	807.1	245.0	33,966	▲10,745	▲22,447	138,760
23.12	290,558	47,296	953.7	290.0	16,652	▲7,315	▲20,963	130,550
24.12予	321,000	52,000	882.0	265.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



24年12月期の中間期業績概況…24年12月期の中間期(24年1~6月)の業績は、自動車セグメントを中心に販売が増加したことなどから、前年同期に比べて売上高が約9%、営業利益が約4%それぞれ増えた。1株当たりの当中間期末配当金は80円となっている。

当期の売上高は1,427億2,000万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は186億1,500万円(同4.4%増)、経常利益は192億6,600万円(同6.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益(以下、中間純利益)は131億4,800万円(同30.8%減)となった。前年同期に特別利益に計上した関係会社株式売却益約63億円が当期は無かったことなどから、中間純利益は減益となった。

セグメント別の売上高は、自動車386億2,000万円(同26.4%増)、環境・プロセス117億900万円(同3.3%増)、医用163億5,000万円(同4.9%増)、半導体572億5,600万円(同1.8%増)、科学187億8,300万円(同7.9%増)。セグメント別の営業利益は、自動車11億6,900万円の損失(前年同期は21億5,900万円の損失)、環境・プロセス1億6,200万円(前年同期比82.3%減)、医用4億5,600万円の損失(前年同期は1億7,800万円の黒字)、半導体202億5,400万円(前年同期比8.4%増)、科学1億7,400万円の損失(前年同期は2億1,300万円の黒字)となった。

自動車については、日本、米州、欧州での販売増などによって売上高は大きく伸び、水素ビジネスへの積極的な投資継続による費用増などから増収・赤字となったものの、赤字額は縮小した。環境・プロセスについては、日本での販売が好調で増収となったが、前期に買収した産業プロセス計測事業の立ち上げに伴う投資負担などにより、大幅な減益に。医用については、円安の進行

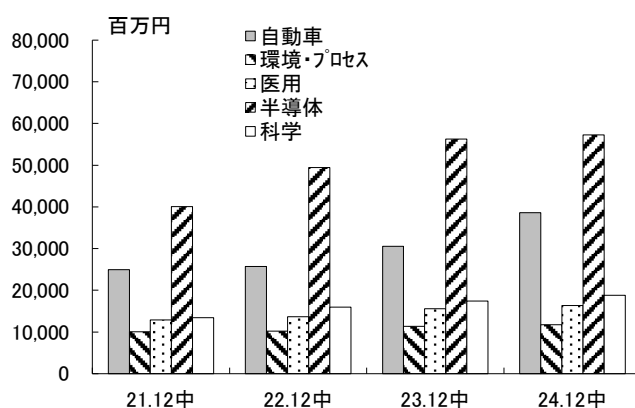
により円換算で増収となったが、日本での血球計数装置の販売減の影響で、赤字となった。半導体については、アジアにおいて半導体製造装置メーカー向けの販売が増加したことや為替の円安進行などから、増収増益になった。科学については、最先端材料分析用途のラマン分光分析装置の販売が増加した一方、製品売上構成の変化や研究開発費増などにより、増収・赤字となった。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物残高は1,342億3,700万円（前年同期末比5.7%増）となった。営業活動CFは、税金等調整前中間純利益192億4,900万円（前年同期比21.1%減）、棚卸資産の増加額36億6,600万円（同76.5%減）、仕入債務の減少額144億3,100万円（同174.7%増）などにより、99億5,500万円の収入（同173.9%増）となった。投資活動CFは、定期預金の預入及び払戻による差引収入額21億4,500万円（同413.2%増）、有形固定資産の取得による支出65億2,300万円（同41.4%増）のほか、前年同期に計上された子会社株式の取得及び売却による差引収入額35億6,800万円が当期は無かったことなどにより、43億9,000万円の支出（同243.8%増）に。財務活動CFは、短期借入金の純増額52億7,300万円（前年同期は純減額100億8,300万円）、自己株式の取得による支出50億1,600万円（同100万円未満）、配当金の支払額88億7,000万円（前年同期比16.8%増）などから、97億3,000万円の支出（同47.6%減）となった。

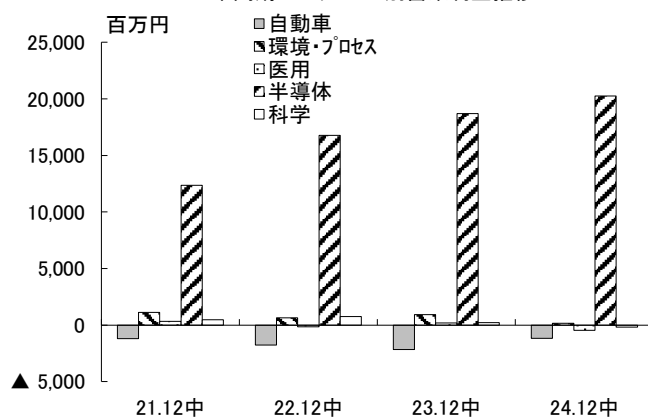
24年12月期の業績見通し…24年12月期の通期業績は、売上高3,210億円（前期比10.5%増）、営業利益520億円（同9.9%増）、経常利益527億円（同9.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益370億円（同8.2%減）の見通しで、24年2月14日時点での会社側発表値から変更はない。1株当たりの年間配当金は265円の予定。

セグメント別売上高予想では、売上高は同年5月14日時点での会社側発表値から変更はなく、自動車940億円（同16.9%増）、環境・プロセス315億円（同26.2%増）、医用345億円（同5.6%増）、半導体1,190億円（同5.4%増）、科学420億円（同5.9%増）。営業利益については一部修正され、自動車30億円（同148.1%増。修正無し）、環境・プロセス25億円（同3.6%増。修正前30億円）、医用5億円（同21.7%減。修正前10億円）、半導体435億円（同7.2%増。修正前420億円）、科学25億円（同1.8%増。修正前30億円）となっている。

中間期のセグメント別売上高推移



中間期のセグメント別営業利益推移



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。